



最重点取組 ～子どもたちの学力を向上させるために～

子どもたちが『勉強に対して、今よりも前向きになれる』…

このことをねらって、5・6年生が、学校運営協議会委員の方、くすのきボランティアの方といっしょに「熟議」をしました。「熟議」とは、多くの当事者が「熟慮」と「討議」を重ねて課題解決をめざす対話のことで、いろいろな人が集まって、それぞれの立場から話し合い、よりよくしていく活動のことです。これまで学校では大人だけで行うことが多かったのですが、近年、学校の主役であり当事者である子どもたちが「自分事」として考えるきっかけとするため、子ども参加型の「熟議」が増えてきています。



本校では、今年度「学力向上」を最重点取組の1つとして全校体制で授業改善などに力強く取り組んでいます。また、PTAの活動方針でも「学ぶ楽しさを 家庭学習の習慣で確かな力に」とうたい、大人の側は本気になっています。しかし、当事者である子どもたちはどう考えているのでしょうか。

この日の5・6年生は、将来のことを思い描きながら、今の勉強が何につながっていくのか、ほんのちよっぴりですが、みんなといっしょに自分事として「熟議」をしようとする

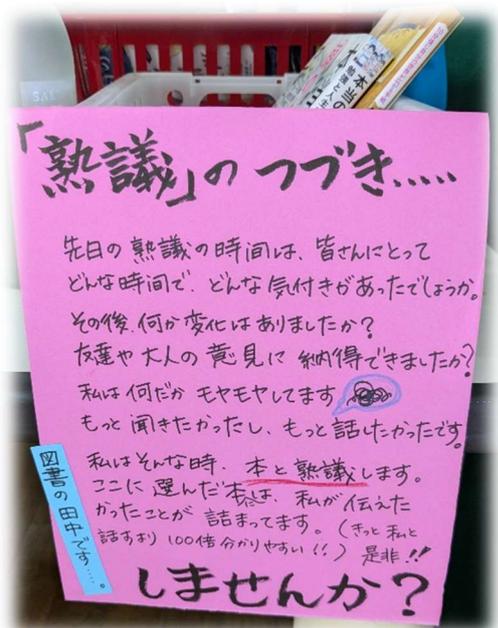
姿が見られました。すぐに改善!とはいきません。初めの一歩です。これからスモールステップでいいので、少しでも勉強に対して、今よりも前向きになり、「たのしさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校をともにつくってほしいと願っています。

そんな折、熟議に参加したくすのきボランティアでもある本校の図書支援員が、そと5・6年生の教室前に、数冊の本とともに右のようなメッセージを寄せてくれました・・・まだまだ、「つづく」です。



10・11月の主な行事等

- 10/22(火) 校外学習 (1,2年)
- 10/24(木) 歯科検診 (2,3,6年)
- 10/25(金) 歯科検診 (1,4,5年)
- 11/ 1(金) 午前中授業 (給食後下校) →萩阿武小教研のため
- 11/ 2(土) スタディ・フェスタ
- 11/ 5(火) 振替週休日



前期の学校評価から

1 学期までの学校評価アンケートをもとに本年度の重点取組事項について考察を行い、先日、保護者と学校関係者の皆様に報告書を配付しました。後期は、最重点取組に関わる

【わかる・できる授業づくり】

【タブレット端末を効果的に活用した学習】

【進んであいさつ】

【やさしい言葉をつかって話す】

ことに、保護者の皆様のご理解とご協力を得ながら取組を充実させてまいりたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

なお、いただいたご意見や情報の中から、2つの事柄について学校の考えをお伝えします。

① 社会見学はどうなりますか。

… 5月のPTA総会でもお知らせしたとおり、社会見学は学校行事として一斉に行うのではなく、学習進度に合わせ、適切な時期に適切な場所へ、授業とのつながりを意識した「校外学習」という形で行うことにしています。なお、昨年度までは一斉実施のため旅行会社のバスを利用していました

が、分散になったことで町のマイクロバスが使用可能となり、保護者の経費負担はありません。

② 夏休み明けすぐの運動会は練習期間も含め熱中症の危険性が高いです。実施時期を再考すべきでは。

… 運動会については、子どもたちの安全を最優先に、阿武中学校と相談の上、9月には開催しないこととしました。なお、実施日については、小・中学校の他の学校行事や教育活動と重ならないよう、現在1学期を中心に検討しています。

令和6年度 阿武町立阿武小学校 前期学校評価報告書

保護者、地域関係者への「よりよい学校づくりのアンケート」と児童の「ふりかえりカード」の集計結果について、本年度の重点目標を踏まえ、「**郷**」「**知**」「**徳**」「**体**」のそれぞれの重点取組事項について考察を行いました。

本年度の重点目標
子どもたちの将来的な自立と共生を願い、その基となる「まづく、きめる、かかわる、やりぬく」の心や力を意識しながら授業や教育活動を進め、「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校をともにつくる。

本年度の重点取組事項

郷 ・育てたい心や力を意識したふるさと学習(ABU学)の推進 ・学校間、校種間連携の推進	知 ・育てたい心や力を意識した、わかる、できる授業づくり ・タブレット端末を効果的に活用した学びの場づくり	徳 ・豊かな人間関係づくり(挨拶、感謝、言葉づかい、教育相談等) ・命の教育(防災、防犯、交通安全)の充実	体 ・歯と口の健康教育の推進 ・基本的生活習慣の確立(睡眠、望ましいメディアの利用等)
---	--	--	--

コミュニティ・スクールの取組を基盤として

【最重点取組事項】
 (知) 学力向上に向けて、分かる、できる授業づくりを進める。
 (徳) 温かい豊かな人間関係づくりを進める。

以下に、その報告をいたします。

(郷) ～4つの心や力の育成～ ～保小中の連携・協働～

【4つの心や力の育成】

	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	平均	達成率
児童	43%	46%	10%	1%	3.3	82.5%
保護者	57%	42%	2%	0%	3.5	88.7%
地域	76%	18%	6%	0%	3.7	92.6%
教職員	83%	17%	0%	0%	3.8	95.8%

「まづく、きめる、かかわる、やりぬく」の心や力の育成については、これまでのふるさと学習「ABU学」や学校行事、特別活動での意識した取組に加え、今年度は授業においても、それぞれを具体的な姿にしてとらえ直し、全校で振り返りの視点につなげています。引き続き地道な取組を積み重ねてまいります。



前期学校評価の報告書1ページ目

歯と口の健康教育への取組が認められました

山口県歯科医師会が主催する『令和6年度「8020運動」推進表彰』において、阿武小学校が山口県学校歯科保健優良校に選ばれ、山口県教育長賞を受賞しました。

これは、長きにわたり、学校歯科医や町健康福祉課と緊密に連携した効果的な取組に加え、保健・給食委員会の児童による積極的な活動と保護者の協力が相乗的な効果をもたらしてきた成果だと捉えています。歯と口の健康教育に関わる多くの皆様とともにいただいた賞です。いっしょに喜び合いたいと思います。

これからも、「自分の健康を自分で守る」そんな子どもたちの将来的な姿を願いながら、保小中の連携も視野に、持続可能な取組へとつなげてまいります。